

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新豊田校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		~ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の幅広さ →指導員の幅が広く、幅広い視野で子どもたちの様子をお伝えすることができる。	一人のこどもに対して、複数人で担当したり別日振替や追加の際に別の指導員が担当したりして多くの人と活動できる体制を整えている。	担当制を継続しながら、振替や追加の際に別の指導員が担当して多角的な視点で子どもたちの様子を確認できる体制を充実させていく。
2	職員の団結力 →指導員がみな素直に、全員で真摯に1つのことに向かって取り組んでいる。	季節ごとのイベントや壁面の更新をしている。チームで取り組むことでよりよいイベントの実施を目指している。 掃除なども担当制で行い、美化活動も行っている。	・毎月の事業所内会議にて意見についての検討を行っている。 ・昨年度の評価を受け、今年度からは防災訓練の様子をブログにて公表している。
3	継続した支援 →小学校・中学校・高等学校卒業といった節目をもって終了される方が多い。いつまでにどの程度のスキルを習得していくか未来のビジョンを共有して支援を行う。	現在の状況だけでなく、今後の方向性も見つめた支援を行っている。	保護者との相談支援の充実、移行支援の充実に向けた取り組み。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育 →現状、個別療育がほとんどで子どもたち同士の関わり方についての支援に対応できていない。	集団療育を実施するに足るスペースの確保ができていない。	少人数でも行える集団療育の実践と保護者の要望に合わせた支援内容の充実化。
2	児童発達支援における支援内容の幅 →本人に最適な療育用品等の準備ができているとは言い難い。	療育用品の少なさ。	職員のスキル向上と療育グッズの充実化。
3	個別支援として取り組んでいるが、個室が少ない。	専用の部屋の準備が行えていない。	リフォーム、もしくは移転。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」新豊田校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 45

回収数 44

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	7	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	43	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	4	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	2	0	1	相談に乗ってもらって助かっています。	家庭のみなさんにより相談しやすい環境を提供していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	1	0	3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	1	0	0	児発管の方との面談がない。	定期的な面談のほかにも、ご相談できる機会を提供しやすい環境づくりを行います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40	1	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	3	0	3		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	1	19	16	必要と感じていないので問題なし。	保護者から要望があれば、実施していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	11	15		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができてきていると思いますか。	41	3	0	0	・学校での困りごとを一緒に考えてくれます。 ・親では気づかない、学習上の特徴を指摘していただき、助かっています。	フィードバック以外の時間でも困りごとを共有できる時間を提供しやすい環境を整えていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	3	1	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	1	0	2		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	16	18	必要と感じていないので問題なし。	保護者の要望があれば、実施していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	3	0	9		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	3	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	4	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	1	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	8	3	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	5	3	20		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	3	1	10		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	3	1	10		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強を頑張るという気持ちが強い ・いつも楽しく行っています。 ・毎回楽しみにしています。楽しく学べているようです。 	一緒に学びながら、楽しく通える事業所を目指して今後も支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・きらりに通えて幸せです。 ・いつも丁寧に对应してくださり、助かっています。 	・保護者の皆さんが満足できる支援を目指して職員一同励んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」新豊田校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・集中しやすい空間を設けるなど、こどもたちにあった場所を用意している。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		・職員数を少し多く見積もることで、振替の提案などをしやすくし、利用者がより使いやすくしている。	・定員数に対して適切ではあるが、部屋数を増やせると利用数も増えると考えられる。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		・部屋の合間にしきりがあるため、こどもたち自身で自分の居場所がどこか判断できるようになっている。	・完全な個室ではないため、隣の部屋の音が聞こえてくるということがある。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		・毎日清掃を行っており、特に問題は感じられない。掃除は担当制になっており、職員の休みにも対応している。	・季節感のある環境づくりができています。より多くのこどもたちが参加できるように促していきたい。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・こどもたちに合わせた部屋を提供している。時間帯に指定がない場合はなるべく部屋を基準に案内している。	・運動を取り入れる場合は工夫が必要になる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎月の事業所内会議にて月の設定を掲げている。	・定期的な開催ができていないため、進捗を確認するといった段取りが必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎月の事業所内会議にて意見についての検討を行っている。 ・昨年度の評価を受け、今年度からは防災訓練の様子をブログにて公表している。	・改善箇所がまだまだ多く、すべて改善しきれていない状況。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎月の事業所内会議にて実施している。	・本社の許可を得る必要がある場合は業務改善に時間がかかることもある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・社内実施の内部監査を実施している。監査の結果を受け、業務改善に取り組んでいる。	・第三者評価は現在実施していない。契約時にも説明をしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・月に1回以上、社内での研修が開催されそれぞれに参加している。また、適宜発達センターへの研修にも参加している。	・社内研修、発達センターと研修のよりどころが固定化されている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・公表されている。	・まだ職員間に共有がいきわたっておらず、理解しきれていない部分もある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的に保護者から話を聞いて個別支援計画の作成を行っている。	・児発管がアセスメントしやすい環境が整っていないと感じる。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・指導員も参加しながら作成をしている。	・担当制のため、参加できる人数が少ない。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画を確認しながらプログラムを組んでいる。	・半年に一度と決まった期間で更新しているため、内容にずれが生じていることもある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・社内でのアセスメントシートを用いて実施している。	・定期的なアセスメントがほとんどで、インフォーマルなアセスメントを利用していることは少ない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・個別支援計画に記載がされている。	・「地域支援・地域連携」は具体的な活動が行えていない。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	・担当制のため、基本は個々でプログラムを立案しているが、適宜、他指導員のアドバイスをもとに作成している。	・現状、主だってチームでプログラムを計画しているのは複数担当のみとなっている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・うまくいかないことにフォーカスし、他の方法がないか模索し、実践している。	・お気に入りの活動がある場合は、固定することが多い。すべての活動が固定化されない工夫のもと実施している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	・現状、きりりでは個別活動のみ実施している。	・以前は集団活動もしていたが、今は希望もなく実施していない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	・複数で担当している場合は実施。	・その日に来所することも職員間で把握できているが、具体的な内容までは把握できていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・複数で担当している場合は実施。	・時間の都合で当日行えない場合は、翌日・翌々日などに実施している。次回来所時までには必ず共有するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録が作成されているかチェック係を設けている。	・担当変更等があった場合は記録をもとに様子や課題を共有することもある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6か月に1回実施している。	・定期的な更新となっており、必要に応じた変更となっているとは言いにくい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・毎回の支援で全て取り入れるのではなく、それぞれの支援を通じて実施している。	・地域交流の活動は実施していない。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・本人に決めさせるときは必ず3つの選択肢を用意し、自分自身で決めるようにしている。	・特に問題はない。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・基本的に担当が状況をお伝えする。	・担当の公休日と重なる場合は他の従業員が答えることもあるが、状況を理解しきれているとは言い難い。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・要望がある場合にのみ実施。 ・直接ではないが、保護者を通じて行っている。	・積極的に行ってはいない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	・保護者を通じて行っている。	・学校での様子を知ることで担任・学校側の意図を理解できるため、実施していきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・要望があれば実施している。	・積極的には行ってはいない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	・現状、該当者はいない。該当する家庭がいれば実施したい。	・就労支援事業所との連携がとれると良い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・発達支援センターの研修に参加。年に1度事業所訪問にて相談もいただいている。	・受動的になっているため、能動的に動いていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現状、保護者からそのような要望がないため、実施していない。要望があれば実施したい。	・交流する機会を提供する場所がそもそもない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・参加できていない。	・自立支援協議会に対する認知が低い。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者から学校での様子を伺い、足りない部分の支援を相談しながら行っている。	・フィードバック時にもみ行っているため、時間としては短く感じる。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・事業所入り口に他事業所のパンフレットやイベントの案内を掲示している。	・ペアレントトレーニングなどは機会があれば行っていく。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時やフィードバック時に説明をしている。運営規定は洗面所横に掲示している。	・運営規定などが掲示されていることを保護者が認識していない可能性がある。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・支援時の様子を伝えながら、毎回の支援の方向性を保護者と相談しながら決定している。	・問題なし	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画作成後に必ず確認してもらってから、サインをいただいている。	・説明の時間が短くなってしまうことがある。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・学習支援に対しては具体的な方法をフィードバック時に説明して、家庭でも取り組んでもらっている。	・面談の機会は少ない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	・機会がなく、行っていない。	・保護者からの要望があれば実施したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情窓口を設け、契約時に説明している。また、苦情窓口受付の案内を洗面所横に掲示している。	・対応のスピードが遅いと感じることがある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・イベントや行事、教室環境などを月に2回以上ブログにてお知らせしている。	・SNSの更新が少ない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きのロッカーに保管している。名前のあるものを出したまま帰らないように徹底している。	・特に問題はない。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・情報共有等含めて職員間で徹底している。	・特に問題なし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・実施していない。	・招待できるスペースがない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・毎月社内もしくは事業所内で実施している。訓練の様子はブログにて周知している。	・ブログでの告知の認知度が低いと感じる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月社内もしくは事業所内で実施している。訓練の様子はブログにて周知している。	・ブログでの告知の認知度が低いと感じる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に持病の確認をしている。 ・発達センターでのてんかん研修に参加している。	・特に問題なし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・食事提供はしていない。	・特に問題なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画の下、訓練を実施。また今年度から備蓄品リストを作成している。	・安全管理の知識が不足しているように感じる。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・避難先を校舎内に掲示している。	・避難時の児童引き渡しなど、詳しく紙面で保護者に配布できると良いと感じる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		・毎月の事業所内会議でヒヤリハットを共有し、同時に再発防止策を話し合っている。	・特に問題なし。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・社内での研修、事業所内での虐待事例の取り上げなどを行っている。	・特に問題なし。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時に説明。必要に応じて個別支援計画に記載している。	・特に問題なし。	